ハート・オブ・ゴールド 通信

vol.26

2012年1月16日 発行

発行 / 編集　ハート・オブ・ゴールド事務局
本部　〒701-1213 岡山市北区西辛川895-7
レジデンスアロー101
TEL&FAX 086-284-9700
E-mail:hginfo@hofg.org

URL : http://www.hofg.org/

第16回 アンコールワット国際ハーフマラソン2011

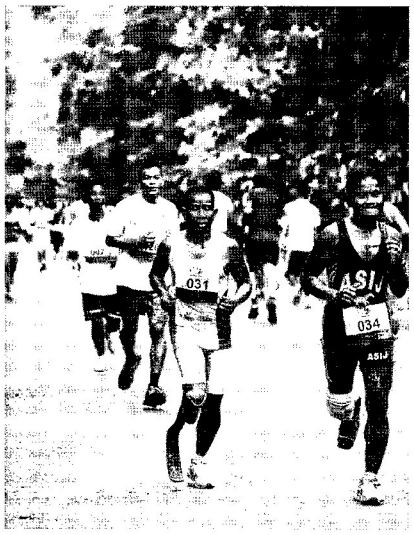
12月4日(日)、過去最多の58の国と地域から、5,230名のランナーが、それぞれハーフマラソン、10km、3kmの種目に参加しました。

洪水による悪路のため、車椅子ハーフマラソンは中止となりましたが、義手義足の障がい者ランナー、なかでも女子の参加が増えました。

HGスタディツアーで参加されていた小野塚稔さんが、見事ハーフマラソン男子の3位で表彰台に立たれました。おめでとうございます！

長年続けてAWHMを走られている森脇健児さんは、今年もご参加。また、ウォーキングとAWHMに初参加の庄野真代さん。

マラソン当日と前夜祭（3日）では、鼓粋若衆板橋轟太鼓の方々が演技を披露され、会場は盛り上がりました。また、会場内には、カンボジアで活動している各NGOによる「東日本大震災」支援活動のパネル展も開催されました。



AWHMに参加されたマレーシアのランナーから、AWHMでのHGの活動に対する表敬と激励のメールが、事務局に届きました。ランナーの方から直接いただく声は、とても励みになります。2011年の締めくくりとして、とても嬉しいプレゼントとなりました。

＊庄野真代さんは、国境なき楽団として、12月5日にチェイ小学校で、音楽教室を開かれました。

AWHM2012は、12月2日（日）開催 ／ ツアーは7月より募集！

『カンボジア体育の成長』

JICA プロジェクトマネージャー　山口　拓

体育科教育振興支援事業 [RECTI-PE]
JICA 草の根パートナー型支援事業 (JPP)

来年６月に終了を迎える本事業は、当会スタッフや専門家によって訓練された中央行政官（NT）を中心に体育授業の普及を行っています。その手法は、全国24州を５分割した各地域に１州の拠点州を設置し、半年毎に１地域を巡回する中で２校の小学校と１校の教員養成校を設置するというものです。現在は、最終地域の拠点州であるスバイリエン州（カンボジア南東部・ヴェトナム国境地域）に歩を進め、最終仕上げの公開授業を終えたところです。この最終地域では、事業の管理、巡回計画の策定、学校の選定、実際の指導などのほぼ全ての業務をNTが手掛け、教員養成校に至っては、これまでに類を見ない完成度に仕上がるなど、継続性や経験の積み上げの重要性を強く実感しました。

来年１月から６月までの次四半期には、最終巡回モニタリングを実施し、カンボジア初の体育研究指定校を設置する予定をしています。やっとここまでたどり着きました。これも一重にスタッフはもとより、支援者の皆様や会員の皆様からの、物質的、金銭的、精神的な支援の賜物であると確信しています。今後とも引き続き、ご支援、ご協力の程、宜しくお願いします。

ツアーに参加して

京都大学　永井　博昭

今回、私はハート・オブ・ゴールドのスタッフとしてツアーに同行していた友人に誘われて初めてカンボジアの地へ足を踏み入れた。教育分野に興味を持っている私にとって、このツアーに参加するにあたって魅力に感じていたのは、アンコールウォークの時間やチェイ小学校、ニューチャイルドケアセンターへの訪問で子供たちとの交流があることであった。参加してみて感じたことは、一生懸命覚えた日本語で子供たちが話し掛けてきてくれることへの感謝だった。また、個人的に一番印象に残ったのはハーフマラソン終了後にケアセンターで出会った子供たちと再会できたことであった。わずかな滞在時間であったにも関わらず私を覚えていてくれてことをとてもうれしく感じた。今回のツアーではハート・オブ・ゴールドのスタッフの方々、ツアーに参加されていた方々も含めてたくさんの良い出会いをさせて頂くことができた。一度の出会いが二度三度とつながることが本当の意味での交流や支援なのかもしれないと今回のツアーで感じたので是非また参加してみたいと思う。

ニューチャイルドケアーセンター
ハートペアレント（里親）事業

2011年9月の移動

スタッフ　エング・サレッ（マネージャー常駐）さん退職。永年子ども達の母親代わりとして身の回りの世話をされておられましたが、年もいかれ勤務が難しくなり家族のもとに帰られました。長い間ありがとうございました。

新しい友達を迎えて

支援の里子

レケナとソコンティア独立

ロン・レケナ（17歳）　伯母の家で働くことになりました。

ヴァン・ソコンティア（19歳）センターで子ども達の食事を担当

新しく6人入所する。

ロン家（4人）とマイ家（2人）は、両家とも両親が非常に貧しく子どもを育てる見込みが無いため引き取りました。

里子は総勢15名。

日本語教室
日本語学習を始めた「ばら組」の生徒　指で学習

HGむつみ日本語教室

2011年9月より新学期に入り46名(ばら組)が新しく仲間入りし、総勢70名になりました。ふじ組の兄姉たちが身振り手振りで頑張っています。

岡山学芸館高校に留学している5期生テン・ワンニダーは、部活として箏曲部と茶道部に入り日本文化に触れています。日本語能力試験N3に合格し秋に行われた「外国人による日本語弁論大会」で「カンボジアと日本の違い」と題して医療について語り、審査員特別賞を獲得いたしました。

留学生　文化祭で部活発表

研修員　ゲェ・チョンパーさんの研修、終了

岡山県の「国際貢献ローカル・トゥ・ローカル技術移転事業」の研修員（日本語指導）として7月から11月末まで5ヵ月間、主に岡山外語学院で研修を受けられました。

彼女は「HGむつみ日本語教室」の補助教員として初級クラスの授業を担当しています。将来、檜尾先生の後任教師としての勉強のため、当事業の研修員として招聘されました。

滞在中、指導者教育のみならず研修員視察で日本の農業、環境、文化遺産また小学校、大学での講演、HGのイベントボランティアなど多くの活動を通し幅広く日本を体験し帰国されました。

お礼のことば

カンボジアに帰って、研修したことを実践していきます。将来自国民が自立できるように、色々相談に乗り、皆をしっかり支えていける人になりたいです。これからも、日本とカンボジアの架け橋になるため頑張っていこうと思っています。私を支えてくださった皆様、5ヵ月間大変お世話になりありがとうございました。深く感謝いたします

研修受入機関

岡山県県民生活部国際課

国際交流センターで講演
民族衣装で

岡山国際交流協会、
岡山外語学院
岡山学芸館高等学校
岡山大学教育学部
岡山市立三門小学校

3.11 プロジェクト

現地でのボランティア活動

４月初めから、会員による自主的な現地へのボランティア活動も、８次隊（7月５日～７日）９次隊（7月16日～18日）10次隊（9月18日～19日）を送りました。全てに参加くださった下村さんの報告書は、ホームページに掲載しています。

寒い時期から夏になり、秋には、避難所も仮設住宅にと変化をもたらしましたが、現地では復興はまだほど遠いように感じられます。支援の形は変わっても被災者の方々に寄り添って長い道のりを進めたいものです。３月には現地を訪問するツアーを企画（チラシ同封）します。皆様のご参加をお待ちしています。

寒いアイスランドから温かい手編みのプレゼント

アイスランド・ガルダバエ市の子どもや保護者の人々が、３月からコツコツと半年かけて編んだセーター、マフラー、手袋、靴下など500点が本部に届きました。

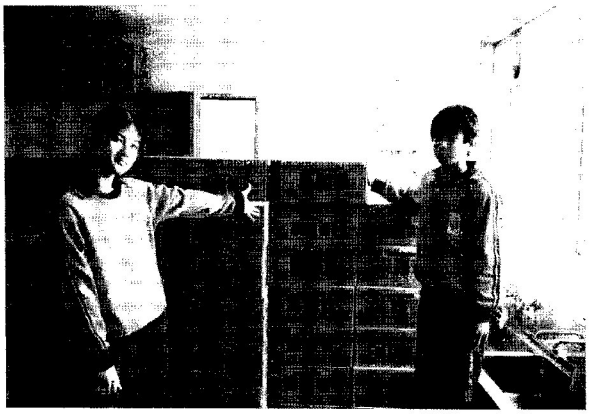
津波の被害を受けた、野蒜小学校、蛇田小学校、ジャパンハート子ども・内科クリニック、ジャパンハートこども・内科クリニック、原発被災者の方々に、クリスマスカードを添えて、送りました。皆さん、心のこもったプレゼントに感動してくださいました。

学校支援

津波にすべてを持って行かれた東松島市立野蒜小学校へ、テレビ、DVDの支援に続いて、秋にはミシンを送りました。５年・６年になると家庭科でミシンの授業があります。野蒜小学校からミシン７台の支援要請を受けて、アイスランドのVinir Japans（日本の友人たち）支援金を中心にして、お送りしました。

学校からは、子どもたちのお礼の絵や写真、手紙が届きました。

HG福島クラブ



福島クラブは、飯館村、南相馬市、波江町からの被災者の方々へ、支援物資（学用品、タオル、鉛筆、Tシャツ、バスタオル、食器、団扇、マスク、水）を継続して届けています。特に９月にはいわき市立第６小学校からの強い要請で、４月に続いて㈱ステラ様の協力で大量の「富士山パナジウム天然水」を支援できました。原発という先の見えない中で、皆様方の支援は、被災者の方々の希望になっています。これからも継続して活動したいと思いますので、ご協力お願いします。

（代表　本田　直）

HG石巻クラブ

東日本大震災では勤務先で命拾いしました。あっという間の10か月でしたが、思い起こせば多くの出来事や出会いがありました。

震災後は学校で勤務しながら避難者の方々やボランティアさんと交流を深めてきました。

たくさんの方々から励ましや、ご支援をいただき、心が折れることなくここまで過ごしてくることができました。これからも、よろしくお願いいたします。

（代表　木村　明子）

サマーキャンプ

あそぼう！学ぼう！サマーキャンプ！（子どもたちにとびっきり楽しい夏休みを！）と題して、下記のような楽しいキャンプが開催されました。

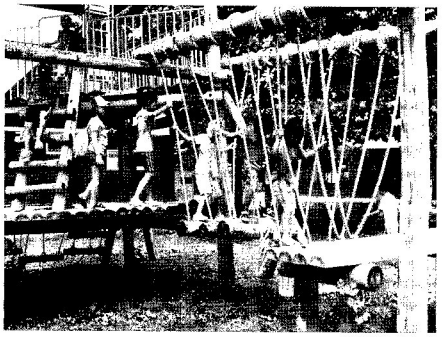
いつ→8月19日（金）～21日（日）
どこで→Outdoor ParK 前森高原
だれが→蛇田小学校の子どもと保護者40名程度
だれと→ハート・オブ・ゴールドスタッフ、臨床心理士、学生ボランティア（筑波大学体操部）のお兄さん＆お姉さん
何を→ひたすら、あそぶ！！！

今回のキャンプは、大震災、津波に襲われ一瞬のうちに昨日までの生活が消えてしまった子ども達に、思いっきり楽しい時間を過ごしてもらえたら、という目的で企画しました。

震災後も、空き地には仮設住宅が建ちならび、それまでの町で当たり

前だったことが出来なくなっている現状、きれいな空気、きれいな水、広々とした高原で、自由に思う存分遊びまわってもらいたいと前森高原が選ばれました。天然の豊かな湧水、緑深い広々とした高原、いろいろな動物たちとの触れ合い、体験学習、何よりも温かな高原のスタッフの皆様の協力で充実した時間が過ごせました。

そして、このキャンプの成功は、つくば大学体操部のお兄さん、お姉さんが2泊3日、各学年のリーダーとして子ども達と一緒に食べたり、遊んだり、そして何よりも愛（いと）おしんで下さったことです。毎食事前の宙返りなどのパフォーマンス、思いっきり一緒に遊んでくれるあこがれのお兄さん、お姉さんはこのキャンプを「夏の日の思い出」として、忘れられないものにしたようです。子どもたちの感想に「筑波大学に行って、体操部に入りたい」と書



いていた子が、何人もいました。

参加された保護者の皆様も、大変な毎日から少し距離を置いて、子どもたちの笑顔を見ながら、しばし、ゆっくりとした時間を過ごしていただいたようです。キャンプの後で、子どもたちの不安な気持や、心身の不調が和らいで、笑顔が多くなったとの感想が寄せられたことは、HGとしてもうれしい限りでした。

HGとして、今後も子ども達の「遊ぶ権利」を守りつつ、計画していきたいと思います。

遊びをせんとや生れけむ
戯れせんとや生れけん
遊ぶ子供の声きけば
我が身さえこそ動（ゆる）がるれ
（『梁塵秘抄』より）

報告会・パネル展示会

予測をはるかに超えた巨大津波と原発の被害を知っていただくために、以下の講演会を開催しました。

11月12日、岡山にて木村明子先生（HG石巻クラブ代表）による「石巻の小学校教員が語る3.11」と題した被災現場から生のお話を伺いました。また、有森代表も講演会で必ず東日本の震災について話します。ともすれば忘れがちになる現地のことを発信していきたいもので

す。今年は、カンボジアのアンコールワット国際ハーフマラソン（12月4日）の現場でも3.11のパネル展を開催して、福島クラブから3名が参加し、世界中の参加者の方々に説明をしました。

「チャリティ親子マラソン in おもちゃ王国」

10月8日(土)、岡山県玉野市にある「おもちゃ王国」にて、遊園地内を周回するコースで開催。3歳から61歳までのランナー、プロのインラインスケーターや消防上のボランティアスタッフも加わり、総勢200名が参加。秋晴れのなか、1km、3kmのマラソンや、綱渡りの体験、インラインスケートショーなど、楽しい1日を過ごしました。支援金は、カンボジアの小学校体育施設整備にいただきました。

【協力】日本警察消防スポーツ連盟、㈱栄光スポーツ、㈱おもちゃ王国、インラインスケート・デモチーム／Girl2 ALIVE、Style Ships

第5回吹田中の島チャリティ・ラン

9月18日（日）、吹田中の島公園から神崎川右岸河川敷をめぐる2.5kmコースで、3時間走とゲームリレーを開催。ゲストに深尾真美さん（元三田工業陸上部）、和田（吉田）光代さん（元ダイハツ陸上部）を迎え、ランナー、スタッフ総勢過去最多の622名が参加しました。

【協賛】山崎製パン㈱、大幸薬品㈱、クレーマージャパン㈱、ポイント・ライブ、関西工芸、加藤司法書士事務所、ウイズコーポレーション、ニュウスポーツ、大阪クラッド㈱

【運営協力】吹田カメの子会、DonburaCoco

グローバルフェスタ JAPAN2011

絆～私たちはつながっている　世界は日本とともに。日本は世界とともにを合言葉に、2011年10月1・2日、日比谷公園で開かれました。雨がぱらつく天気にも関わらず、かなりの人出で、イベント全体としては、2日間で約11万人。

HGブースへは、合計25名のボランティアスタッフが参加。特に、成城大学女子ラクロス部の皆様には、高橋典江コーチ（HGCYA-JYAカンボジアラクロスPJリーダー）にくわえ、6名の部員にご参加いただきました。

■青空カット

カモンR（美容室、岡山市）のスタッフは、3年前からカンボジアへのスタディツアーで青空カットを行っています。3.11プロジェクトでも現地に入り、避難所でカットを行う等、継続した活動をしていただいています。

12月の第3日曜の定休日である18日には、HG支援のチャリティーカットを開催。同21日の同店での有森代表の講演会には50名を超える参加者が集いました。

中古パソコン20台の贈呈

大光電機㈱様より、中古ノートパソコンを寄贈いただきました。カンボジアにて、HGアジア事務所、教育省学校体育スポーツ局、NCCC、HGむつみ日本語教室にて有効に使わせていただきます。スタッフの仕事もはかどり、子ども達もコンピュータの勉強を始めることができます。みなが待ち望んでいたので、大喜びです。

◇◇ 第6回 HG チャリティ耐寒登山 ◇◇

大阪で唯一樹氷・霧氷（雪があれば）が楽しめる金剛山でお腹一杯マイナスイオンを満喫しませんか？

皆様のご協力・ご支援があって今年で6回目を迎えることができます！　会員様、ご家族様、友人皆様のご参加をお待ちしております。

【日　　時】 2月12日（日曜日）　小雨、降雪決行
【集合時間】 10時　10時30分出発予定
【参 加 費】 1,000円
（チャリティ募金とさせていただきます）
【集合場所】 金剛山登山口徒歩2分、さわやかトイレ前駐車場
【持 ち 物】 着替え・飲料水・おやつ・アイゼン（降雪時）
【交通機関】
○南海電鉄利用の場合　南海高野線・難波～河内長野
バス・金剛山ロープウェイ行き→金剛登山口下車
○近鉄電車利用
南大阪線・近鉄阿部野橋～富田林
バス・千早線→金剛登山口下車
※ 参加確認は致しません。
現地集合、現地解散！！気軽にご参加ください。
尚、当日の怪我等につきましては個人の責任に於いての参加となります。
参加を予定される方は日頃から歩いておいてください。

アジア事務所でインターンとして活動

島根大学教育学部　中田　修平

こんにちは！島根大学教育学部の中田修平と申します。2011年7月よりアジア事務所でインターンとして活動させていただいています。私にとって初めての海外でもあるカンボジアでの活動は、見るもの全てが新鮮で面白く、月日があっという間に過ぎていってしまいます。カンボジアに来てすぐに、今まで「当たり前」だと思っていたことが全く当たり前ではないことに気づかされました。そして5ヶ月が経過した現在、来る前よりもはるかに多くのことを考えるようになりました。それは、自分のことであったり、社会についてのことであったり様々です。いわゆる「先進国」である日本にはあって「発展途上国」といわれるカンボジアには無いものがたくさんあります。しかし、カンボジアにあって日本には無いもの（失ったもの）も多く存在するということを肌で感じます。

アジア事務所で過ごした5ヶ月間、辛いこともありました。しかし、それを遥かに上回る楽しさと学びがありました。何より痛感したのは、様々な人に助けられて生きているのだということです。両親、日本の友達や大学の先生、そしてハート・オブ・ゴールドの皆様。多くの人に支えられてここにいるのだということを実感しています。そして、それはとても恵まれていて幸せなのだということもわかりました。

年が明けて1月からはシェムリアップに移動し、檜尾先生のもとでHGむつみ日本語教室、NCCC、チェイ小学校で活動させていただきます。プノンペンのアジア事務所での活動とはまた違った経験ができることを楽しみにしています。これからも「できることをできる限り」続けながら、「感謝」の気持ちを忘れずに精一杯活動していきたいと思います。

活動報告（2011年後半）

7.6-12.1 岡山県技術移転事業（日本語教師研修）
7.15-22 専門家4名派遣（体育科振興事業）
7.17.　日本国際ドラゴンボート選手権
8.6.　ピースラン広島
8.19-21 あそぼう・学ぼう・サマーキャンプ
9.3.　HG福島クラブ総会
9.16.　トロワグロ来日記念チャリティガラディナー
9.18.　第5回吹田中の島チャリティ・ラン
10.8.　チャリティ親子マラソン in おもちゃ王国
10.21.　岡山アワード受賞式
11.6.　外国人による日本語弁論大会
11.12.　講演会「石巻の教員が語る3.11」
11.27.　第36回河口湖日刊スポーツマラソン
12.1-6　AWHMスタディーツアー
12.2.　アンコールワットウオーキング
12.4.　第16回アンコールワット国際ハーフマラソン
12.13-14.　特別講演会（バンクーバー）
12.19.　講演会「希望と勇気を分かち合う」仙台ゾンタクラブ

活動予定（2012年前半）多少の変更あり

2.5-2.11　専門家カンボジア派遣（体育科振興事業）
2.17　バレンタイン・チャリティー ディナー
HG西日本チャリティー耐寒登山
2.19-2.24　専門家カンボジア派遣（体育科振興事業）
3.4.　第32回篠山ABCマラソン
3.12-3.14　3.11スタディーツアー
3.13.　3.11学校支援（野蒜小）
3.14.　3.11学校支援（蛇田小）
3.20.　第2回淀川国際ハーフマラソン
3.21.　留学生カンボジア帰国
3.26.　新留学生来日
4.15.　第22回かすみがうらマラソン
東日本会員交流会
6月　HG理事会・総会・西日本会員交流会